

調査結果の概要

結果および全国との比較結果のポイントは以下のとおりです

概要

- ・ きまって支給する現金給与額は、男が全国平均を上回りましたが女が全国平均を下回り、全体として全国平均をやや下回り、全国第18位となりました。
- ・ 1か月の1人平均出勤日数および1人平均月間実労働時間は、いずれも男が全国平均を上回りましたが女が全国平均を下回り、全体として全国平均と同水準となりました。
- ・ 女性労働者の割合および短時間労働者(通常日1日の実労働時間が6時間以下の常用労働者)の割合は、いずれも全国平均を上回り、全国第11位となりました。

1. 給与

(1) きまって支給する現金給与額

- ・ 平成21年7月における月間きまって支給する現金給与額は、183,096円となりました。
- ・ 全国平均を100とした指数では、98.8で男は107.0、女は92.1となりました。(P 5)

(2) 特別に支給された現金給与額

- ・ 平成20年8月1日から平成21年7月31日までの1年間の特別に支払われた現金給与額は、200,525円となりました。
- ・ 全国平均(195,387円)を5,138円上回りました。(P 7)

2. 出勤日数と実労働時間

(1) 出勤日数

- ・ 平成21年7月における1人平均出勤日数は、20.8日となりました。
- ・ 全国平均(20.8日)と同水準となり、産業別では建設業などで全国平均を上回り、医療、福祉などで全国平均を下回りました。(P 8)

(2) 実労働時間

- ・ 平成21年7月における1人平均月間実労働時間(通常日1日当たりの実労働時間7.1時間 × 出勤日数20.8日)は、147.7時間となりました。
- ・ 全国平均(147.7時間)と同水準となりました。(P 8)

3. 雇用

(1) 女性労働者の割合

- ・ 常用労働者のうち女性労働者の占める割合は、59.6%となりました。
- ・ 全国平均(57.0%)を上回り、産業別では卸売業、小売業などで全国平均を上回り、サービス業などで全国平均を下回りました。(P 10)

(2) 短時間労働者の割合

- ・ 常用労働者における短時間労働者(通常日1日の実労働時間が6時間以下の常用労働者)の割合は、32.1%となりました。
- ・ 全国平均(28.2%)を3.9ポイント上回り、全国第11位となりました。(P 10)

(3) 産業別構成比

- ・ 常用労働者の、主な産業別構成比は、多いものから卸売業、小売業(33.0%)、建設業(13.5%)、宿泊業、飲食サービス業(11.7%)の順となりました。
- ・ 全国の主な産業別構成比と比べると、卸売業、小売業は全国平均(29.7%)より3.3ポイント高く、医療、福祉は全国平均(8.0%)より2.7ポイント低くなりました。(P 11)